

令和7年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和8年3月20日

法人名

園名

社会福祉法人照治福祉会

摂津峡認定こども園

まとめ

全体平均

4.63

第2章第2節 乳児期の園児の保育	担当制保育を通して一人ひとりの生活リズムや発達に合わせて援助や配慮を行うことができている。わらべうたを歌いながら触れあいあそびをするなど生活の中で温かい雰囲気の中で安心して遊べる環境を作っている。また、遊びの中で子どもたちの興味関心に寄り添い、おもちゃや絵本など月齢や発達にあったものを用意しているが、都度子どもの成長に合わせて入れ替えるなど見直しを行うよう心がけていかなければならない。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	健康に過ごせるよう一人ひとりの体調などを担任間で共有し生活リズムの安定につなげている。担任との信頼関係を基盤に、安心して友だちとかかわろうとする姿が見られ、さらには大人が仲立ちとなることで落ち着いてあそんでいる。月齢や発達にあった環境を整えているが、散歩などで見つけてきた身近な動植物の世話などにも目を向けてみたり、ごっこ遊びを通して保育者や友だちとの言葉でのやり取りも深め、様々な素材に触れる経験も楽しんでいる。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	日常生活を異年齢で過ごすことで、誰から教えられることなく自然に年長児が年下の子どもを手伝ったり援助する姿が見られる。一緒に生活する中で互いに刺激を受け合いながら、自らしたいあそびを見つけて主体的に体を動かしている。時にぶつかり喧嘩をすることもあるが、保育者が仲介して自分の思いを伝え合うことで相手の思いに気づきながら友だち関係を築く姿がある。自然豊かな環境に恵まれ虫や植物、果実など興味の対象が尽きることなくあり、畑にいる時に散歩中の近隣の方々とのやり取りもある。言葉や造形などを通して自分の思いやイメージを表現する機会を大切にしていきたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	園児の健康管理には常に気を配り、家庭や園からの伝達などは職員間でしっかりと共有して確認し合うようにしている。子どものやりたい気持ちを受け止め安全にあそびができる環境を作るよう心がけ、全身を思い切り動かすなど保護者が援助するのではなく、子ども自身が自分の身体の動かし方を身につけられるように配慮している。一人ひとりの個性や思いを受け止め、一人の人間として認め丁寧に関わるようにしていく。
第3章 健康及び安全	子どもたちの体調を把握し、保護者とも連携を取りながら子どもの成長を見守っている。食育に関しても子どもたちが水やりをして育てた野菜を収穫したり、クッキングをしてとれたての野菜の味を味わうことで食に興味を持っていけるよう給食職員とも連携している。また、安全管理については大きなけがや事態につながらないように環境を見直したり、常に見守り方にも「これでいいのか」と疑問を投げかけるようにし、職員の意識が緩まないようにしていきたい。
第4章 子育ての支援	保護者とは常にコミュニケーションを積極的に取ることを心がけている。担任と保護者のやり取りが増えることで疑問や心配事も含めて会話も増え、信頼につながると思うので今後も家庭とのやり取りを絶やさず、子育て支援となるよう関わりを深めていきたい。また、多様な家庭環境を受け止め、柔軟に対応していくことで保護者が安心して子育てができる環境を作っていこうと思う。
第5章 職員の資質向上	職員の資質向上を図るために、一人ひとり意識が違っているため年数に応じた研修体系を作るなど、おのずと意識ができるようにしていく。また研修に参加した職員の伝達講習の持ち方や伝達の方法についても、全員が受けやすく伝えやすい方法を考えていかなければならないと思っている。【共有会議、全体会議等の活用】
総合	子どもたちに寄り添うために育児担当制保育や、異年齢合同保育を行う中で保育者と子どもがたくさん対話をしたり、子どもたちの思いを受け止めることを大切にしています。後期に「子どもたちの人権を尊重すること」について職員全体研修を行いました。保育の様々な場面で保育の内容を振り返ることで、子どもたちの「同意」をもとに丁寧な保育ができているか再確認をしました。今後も職員がお互いに気を付けていることなど繰り返し話し合ったり、外部研修の伝達を各種会議等を活用するなど共有の方法を工夫し、園自体の意識や資質の向上にも継続して努めていきたいと思います。また、保護者とのコミュニケーションは積極的に行い、子どもを「まんなか」に子どもたちの最善を目指して家庭と協力していく環境を作っていきたいと思います。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.93
「3歳未満児保育」	32	4.53
「3歳以上児保育」	53	4.40
「教育保育の配慮事項」	16	4.88
「健康・安全」	29	4.86
「子育ての支援」	18	5.00
「職員の資質向上」	9	3.89
計	172	4.63

データグラフ

